



女性が活躍する工場を視察

JAM中央女性協議会(With)は、組合活動への女性参画拡大や魅力ある組合活動に向けた取り組みなどWithの2017年度重点活動計画の周知を目的に「全国女性活動担当者会議」を15地方41単組45人の参加で、2017年2月10日から11日の2日間、大阪府・JAM西日本会館で開いた。工場視察では、クボタ堺製造所を訪問し、女性が活躍する現場を視察して、取り組みについて意見交換した。

グループワーク 誰もが働きやすい職場とは ～気づきから行動を変える～

①やりがいを与える職場とは、②(自分に)何ができるか、③(誰が)何をすべきかについて、権利と義務のバランスや、労使ともに男性も女性も意識改革が必要、時代の変化を認識することなどの意見があった。



時代の変化を認識することなどの意見があった

クボタの女性活躍推進 学業サポート休暇など

2月11日には、(株)クボタ人事部ダイバーシティ推進室長・尾上彰洋氏(写真右)から「クボタの女性活躍推進につ



クボタの両立支援制度を尾上氏が説明

いて」と題し、女性管理職に対しマネジメント力強化を目的とした半年間の研修や独自に定めている学業サポート休暇(子の人数に関係なく5日/年)制度などについて講演を受けた。参加者の質疑に対し、積立年休を使用し授業参観や教師との面談などに活用しているとの回答があった。

女性ロッカーにテンキーロック式セキュリティーを導入

工場内の掲示板には、相談しやすいようにハラスメント相談員を顔写真付きで紹介されていた。11ヵ月間研修する教育研修施設や女性ロッカーにテンキーロック式セキュリティーが導入された福利厚生施設を見学した。参加者の質疑に対し、マタニティ作業着を用意していることや女性設計者が毎年5～6人増えていることなどの回答があった。



With役員・参加者とクボタ堺労組執行部のみなさん